

平成28年

目黒区教育委員会

第3回定例会会議録

(平成28年1月19日開催)

第3回目黒区教育委員会定例会会議録

開催年月日 平成28年1月19日

開催場所 教育委員会室

出席委員	教育委員会委員長	小村 恵子
	教育委員会委員長職務代理者	笹尾 敦夫
	教育委員会委員	中山 ひとみ
	教育委員会委員	木村 肇
	教育委員会教育長	尾崎 富雄

出席職員	教育次長	関根 義孝
	教育政策課長（学校統合推進課長兼務）	
		山野井 司
	学校運営課長	佐藤 欣哉
	学校施設計画課長	照井 美奈子
	教育指導課長	佐伯 英徳
	教職員・教育活動課長	濱下 正樹
	めぐろ学校サポートセンター長	増田 武
	統括指導主事	細田 真司
	統括指導主事	和田 孝
	生涯学習課長	金元 伸太郎
	八雲中央図書館長	大迫 忠義

書記		鈴木 敏由起
		山東 隆博

(午前9時30分開会)

- 委員長 第3回目黒区教育委員会定例会を開会します。本日の欠席委員、欠席職員はございません。署名委員は中山委員です。
それでは、日程第1を議題とします。

(日程第1 中学校における特別支援教室モデル事業の実施について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○委員長 この件についてご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第2を議題とします。

(日程第2 平成27年度小・中学校卒業式祝辞について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○委員長 この件についてご質問等ございますか。
○委員 私は、オリンピックがあるので、スポーツの話題はいいと思いますけれども、日本人のノーベル賞受賞というのは、毎年あることではないので、この2人が受賞されたというのは非常におめでたいことでもあるし、若い世代に対する影響力というのは非常に大きいと思うので、私自身は、この2人のノーベル賞というのは外せないなと思っています。
どちらをどちらで取り上げるのが、中学校で取り上げるのか、小学校で取り上げるのがいいのかというのは、今後もう少し議論したほうがいいと思いますけれども、その二つは強く推したいと思います。
女性という意味からすると、澤選手というのは確かに私自身も考えていて、引退されるということもあったので別の観点からいいとは思いました。
私の中ではその三つを候補にお願いしたいと思います。
○委員 私もほぼ同じなんですが、梶田先生のノーベル賞ですが、ニュートリノの言葉の使い方によっては生徒に対して難しいかなという印象がありますので、大村先生のアフリカの問題を中心に取り上げられるのがいいのではないかなという印象を受けております。

それから、ラグビーについては、あまりにもマスコミ向きになっている状況があるので、私としては卒業式の題材としては、いかなものかという印象を受けています。

そういう意味では、特に女性ということと、それから、障害を持って頑張っておられるこの上地選手の車椅子テニス。車椅子テニスでは、男性でも頑張っておられる方がいらっしゃいますけれども、この二つに絞り込むのがいいという印象であります。

○委員 私は、まず、大村氏のノーベル医学・生理学賞が一つの候補だと思っています。発見も非常にすばらしいのですが、常に感謝の言葉、亡くなった奥様とか全ての人に対する感謝の言葉を常に述べられるあの姿勢も、非常に参考になるのではないかと思います。

梶田氏の物理学賞は、小学生には内容が難しいのではないかと思います。ただ、梶田氏は自身の出身ではない大学の研究スタッフを率いて、さらに理論を発展させたという面では非常にすばらしいのですが、小学校の題材としては大村氏のノーベル医学・生理学賞と、あともう一つは、サッカーの女子日本代表の澤選手の引退は現役の卒業と見て、卒業の意味をかぶせて、その姿勢を見習っていただけるようにということで、この二つが小学生のテーマとしてはいいと思っています。

○委員 小学生ということで二つ程度ということですがけれども、今回新たに持ち上げていただいた他の3人の委員と同じように、ノーベル医学・生理学賞、それから、ノーベル物理学賞という二つの大きな賞を受賞したということについて、その題材例としての内容等も記載されておりますが、なぜ大村氏なのか、なぜ梶田氏なのかという説明は難しいと思います。どちらもすばらしい功績があって、賞をもらったわけですが、卒業式にどちらがふさわしいかというのは、一つは書き手の書きやすさというものもあるかと思えますので、その辺について見解を一つお伺いしたいと思います。

その他については、また意見を表明したいと思います。

このノーベル賞関連について取り上げるということは、他の委員とも一致しており、どちらもすぐれた功績である中で、まずは今小学校について絞って議論していますので、その辺についての見解を聞いてみたいと思います。

○説明員 どちらもすばらしい賞であるということは間違いないところではございますが、小学生、子どもの実態ということを考えますと、理科の学習という点から踏まえましても、このニュートリノの質

量の部分のニュートリノ振動のことも、卒業式の祝辞の中だけで、子どもたちに理解させることは難しい題材かと思います。

○委員

まず、ノーベル賞関連について小学校で上げるか中学校で上げるかということは、これからですけれども、1ページ目の2の主題設定の背景に新たに記述としてつけ加えていただいた、4行目からの、27年度は2人の日本人がノーベル賞を受賞するなど、日本のよさの一つである科学技術が世界に認められたということなどを入れるかどうかということも含めて今後検討していただきたいと思いますけれども、少なくともノーベル賞関連について取り上げることは、他の委員と同じ意見です。

特に、大村智氏のことが書かれているわけですが、一つは、農家に生まれ、耕作や家畜などの世話を学校に行く前にしたとか、学校から帰ってきてからもしたということなどの努力も視点として入れていただいたらどうかということと、大学を卒業した後は定時制の高校の教員になって、その生徒に励まされた、学業に熱心に取り組む高校生に心を打たれて、もう一度勉強したいと考え直したというところが、注目すべき点だと思います。

それから、率直には書きにくいと思いますが、受賞されたときに奥様への感謝の言葉を述べられています。そういういろいろな周りからの支援があつて受賞があつたんだということなども披露していただければと思います。

もう一つについては、今の段階でサッカー女子日本代表の澤穂希選手がいいのか、あるいは、女子車椅子テニスの上地結衣選手がいいのかは今の時点では判断しかねているところでございます。

○委員長

では、今の意見をまとめますと、大村先生のノーベル賞受賞が、小学校か中学校かはわからないですが、ノーベル賞の話はわかりやすいですし、いいのではないかなと思うので、今のところ小学校の部分で大村氏のノーベル医学・生理学賞受賞と、サッカー女子日本代表、それから、女子車椅子テニスの上地結衣選手のこの三つに絞りたいと思います。

では、次に、中学校です。

○委員

すみません、私は小学校、中学校あわせてその三つでいいと思います。

一つ申し上げたいのは、梶田氏を題材とすることは確かにわかりにくいんですが、お正月あたりのテレビの番組だったと思いますが、学生を相手に梶田先生が出席されていて、自分のいろいろ

な研究の中身をお話になっていたときに、ここに書かれているように、データが出てきたときにこういうことはまずあり得ないんじゃないかと最初に思って、その間違いを発見するために1年か2年の検証に努めたというのを見て、科学者はこういうことを地道に行うのだなと思い、感動したというのが一つと、それから、カミオカンデでしたか、事故があつて大変な苦難に遭つたときもそれを乗り越えたというようなこともあると思います。ですので、難しいとは思いますが、中学生だったらよいと思っています。

○委員 私は、中学校の場合は、駅伝の話がいいと思っています。ノーベル賞はもちろんのこととしてです。

駅伝では、これは箱根駅伝を題材とされていますけれども、中学生ですとちょうど大会が終わつた後の、目黒区としての実績が出た後での卒業式の話にはなりますのと、生徒たちも興味を持っているという意味で駅伝を取り上げるのがいいと思っています。

ちなみに、東京都の駅伝のことでいいますと、12月にあつた高校駅伝で國學院久我山が15位ぐらいだったので、実は、15位ではあつても東京都の駅伝の記録を塗りかえたというぐらいに頑張つたことがあります。

東京にいてその駅伝で走るということの難しさといいますか、そういうことを知らせる意味でも一つそういった題材もいいと私は思っておりますので、中学校はノーベル賞と駅伝という2点を、私は推薦したいと思います。

○委員 私は、中学校の題材としては梶田氏のノーベル物理学賞が一つの候補だと思っています。

先ほども申し上げましたように、これは表現が難しいかもしれませんが、本当にこれだけのチームを率いて立派な理論を築き上げたということ。しかも、その梶田氏に対して、前のプロフェッサーが表現するには、ごく平凡な一人のスタッフとして努力をして、そしてリーダーになって、これだけの業績を上げたということは、何かの形で表現できれば素晴らしいと思っています。

もう一つは、私はラグビー日本代表の活躍だと思っています。当たり前かもしれませんが、とにかくデータを見ても体力的に他国よりも劣っているわけです。劣っている状態で、それを練習量とチームワークと気迫で勝利を勝ち取つたわけですから、そういうことを前面にデータに基づいてお話できれば、努力というものについていいモデルではないかと思って、この梶田氏とラ

ラグビー日本代表を推したいと思います。

○委員 私は、一つは梶田氏に焦点を当てて、小学校は大村氏、中学校は梶田氏というのがいいと思っております。

それから、中学生になった場合には、先ほどの小学校の場合には澤穂希選手と上地結衣選手のお話をしましたけれども、中学校では、ラグビーの日本代表がいいかなと考えています。

○委員長 ありがとうございます。

ノーベル賞の梶田氏、ラグビーの日本代表の活躍、それから、駅伝ですね。この三つでよろしいですか。ほかにご意見ありますでしょうか。

それでは、中学校は、梶田氏のノーベル物理学賞とラグビー日本代表、それから、駅伝のたすきをつなぐというテーマでお願いいたします。次回に題材を決定したいと思います。

次に、日程第3を議題とします。

(日程第3 目黒区女性職員活躍推進計画(素案)について(報告事項))

○説明員 (資料により説明)

○委員長 この件についてご質問等ございますか。

○委員 幼稚園の教諭は女性に限られているのですか。

○説明員 採用自体は男女可能でございますけれども、現状、女性職員だけということでございます。過去には男性の幼稚園教育職員もございました。現状は幼稚園教諭は全て女性という状況で、区の目標の計画値からはそういった課題はないということで除外をしているということでございます。

○委員 例えば医療関係ですと女性が多いとか、こういう保育関係では女性が多いとか、あと、土木になると男性が多くなって、ばらつきがある。そういう偏りは当然あることだと思うのですが、そういう中で、女性だけとなっていない中で、幼稚園教育職員を一応トータルのデータから外すということですが、入れても差し支えないような気がします。

医療関係も女性が多い。保健所の所長は男性が着任したり女性になったりしていますけれども、その中で外す理由がもう一つはつきりしなかったんですが、もう一度説明していただきたいと思います。

○説明員 確かに現状は幼稚園教育職員は女性のみということですが、採

用時点ではそこは平等に採用されている状況があります。

その目標値ということですが、まず任命権者が違うということと、その昇任制度がそもそも違っているということを区としては判断したと人事課から伺っています。

国がいう20%という目標値について、幼稚園教育職員を加える、そこに限りなく実際は近づいてしまうということもあるんですけれども、国がその方針の中で定めている管理職という考え方が一つございまして、国の本庁行政機関で勤務をする管理職というのが、国の指針で管理職に規定すると示したところも区として踏まえた上で、管理職の目標値については国と同じレベル、同じ考え方の目標値ということで規定をしたと聞いてございます。

○委員 みずから厳しい設定をするわけですから、異論はないんですが、わかりました。ありがとうございます。

○委員 非常に前向きな計画でありますので、ぜひとも推し進めていただきたいという希望の意味からのお願いなんですけれども、この目標、女性管理職20%、男性職員の育児休業取得率10%、これは一応今後の予定では3月に庁内周知という形になっていきますけれども、例えば目黒区のホームページなどに載せる予定はあるのでしょうか。

○説明員 資料では庁内周知となつてございますが、国が定めました指針に、公表ということが定められていること、それから、把握をした現状や分析したことも1年に1回公表するということが定められておりますので、ホームページも含めて公表すると人事課から聞いてございます。

○委員 ホームページを見られる区民の方、あるいはそれ以外の方も当然見られると思いますけれども、理解されやすいような理由づけとございますか、そういったものを丁寧に説明して、ぜひともこの実現に向かって区としては努力している、そして、これが5年計画でありますから、毎年、達成状況がまたオープンになると思いますけれども、そういったことが区民の方々に理解されるようにうまく説明していただくということが大事じゃないかと思っておりますので、ぜひよろしく願いいたします。

○説明員 こういった計画について区民の方がよりわかりやすいものとなるように、人事課にはそういった趣旨は伝えていきたいと思っております。

○委員長 その他ご質問等ございますか。

特にないようですので、この報告を受けました。
次に、日程第4を議題とします。

(日程第4 教育委員会名義の使用承認状況について(報告事項))

- 説明員 (資料により説明)
○委員長 この件についてご質問等ございますか。
特にないようですので、この報告を受けました。

資料配布 ・「東京都オリンピック・パラリンピック教育」実施方針の策定について
・平成27年度目黒区立学校第三者評価結果報告書について

- 委員長 そのほか、何かございますか。
○説明員 では、口頭で情報提供をさせていただきます。
本日、9時5分から区の危機管理会議が開催されました。
案件は、インターネット掲示板への区役所爆破予告の対応についてというものでございます。
まず、掲示板への書き込みの内容でございますが、1月19日、本日でございますけれども、15時に目黒区役所を爆破するというものです。なお、同様の書き込みは目黒区役所だけではなく、23区全ての区役所に対してなされているとのこと。
この情報については、目黒区では昨夜21時過ぎに目黒警察署から連絡を受けまして、警察署と協力をして総合庁舎内外の緊急点検を行いました。現時点で不審物等は発見されておりません。
以上の経緯につきましては、区のホームページに速やかに掲載をしまして、あわせて、来庁されて不審物に気づかれた方はすぐに近くの職員にお知らせいただくようお願いの記載をすることとしております。
本日中の具体的な対応ですが、各課で事務室内を点検して、不審物がないことを確認するとともに、警察署と協力して1時間ごとに廊下、トイレ等の共用部分を重点的に巡回点検することとしております。
また、15時に爆破物を投げ込むということも考えられないことではありませんので、予告時刻に向けて庁舎周辺の警戒も怠りなく行ってまいります。

さらには庁外施設に対しても施設内の点検を指示しまして、対応に万全を期してまいります。

情報提供は以上でございます。

○委員長 以上で本日の定例会を閉会します。

(午前10時26分閉会)